

病院

25年度は4億5,839万円の純損失

収益的収支（事業活動のための経費とその財源）は表1の通り、事業収益（収入）が44億6,677万円、事業費用（支出）は49億2,516万円で、差し引き4億5,839万円の純損失となり、累積欠損金は75億3,176万円となり、また、資本的収支（医療機器購入費や施設整備などの経費とその財源）は、資本的収入が1億7,913万円、資本的支出は13億3,739万円で、収支不足額1億5,826万円は、一時借入金で措置しました。財政状態は表2の通りです。

患者数の増加などにより、増収となりました。一方、支出では、医師などの増員に伴う人件費、患者数の増加や新たな医療の提供に伴い、薬品費、診療材料費、検査および給食委託費が増加しました。25年度の病院患者数は、延べ15万5,015人で、うち入院患者は5万3,951人、外来患者は10万1,064人となりました。

血管撮影装置を導入、無菌治療室を開設

25年度は、「市立川西病院事業経営改革プラン」の最終年度として、プランに基づく消化器内視鏡センター充実への取り組みを継続し、新たな医師の着任に伴う血管撮影装置の導入、無菌治療室の開設などの機器などの整備とともに、乳腺センターの開設、ピロリ菌外来や禁煙支援外来を開始するなど新たな事業をスタートしてきました。財政面では依然厳しい状況にありますが、10月に入り、これまでの取り組みに加え25年度の医師の充実や医療機器・病棟の整備などの効果が現れ、入院・外来患者数が増加しました。引き続き、医師・看護師などの確保・充実を図り、安全・安心で良質な医療の提供と、経営改革に取り組んでいきます。詳しくは市立川西病院経営企画課 ☎(794) 2321へ。

り、安全・安心で良質な医療の提供と、経営改革に取り組んでいきます。詳しくは市立川西病院経営企画課 ☎(794) 2321へ。

表2 25年度病院事業貸借対照表 (26年3月31日現在)

借方	貸方
土地、建物、器械備品、投資など固定資産 28億6,767万円	固定負債 17億円
現金預金、未収金、貯蔵品など流動資産 5億9,236万円	一時借入金、未払金、預り金など流動負債 12億 322万円
繰延勘定 2,889万円	自己資本金 1億1,018万円
合計 34億8,892万円	借入資本金 15億1,696万円
	国庫補助金など資本剰余金 64億9,032万円
	欠損金 75億3,176万円
	合計 34億8,892万円

表1 25年度病院事業損益計算書 (25年4月1日～26年3月31日)

支 出	収 入
人件費 28億7,044万円	入院収益 24億9,217万円
材料費 7億4,230万円	外来収益 9億5,321万円
経費 8億4,987万円	他会計負担金および交付金 8億2,306万円
減価償却費 3億 503万円	その他の収入 1億9,833万円
支払利息 1,763万円	小計 44億6,677万円
その他の支出 1億3,989万円	当年度純損失 4億5,839万円
小計 49億2,516万円	合計 49億2,516万円
当年度純利益 —	
合計 49億2,516万円	合計 49億2,516万円

25年度の病院事業と水道事業、下水道事業の会計決算が、26年第4回市議会で認定されました。

25年度 病院・水道・下水道事業 会計決算を公表します

水道

25年度は1億9,485万円の黒字

収益的収支（事業活動のための経費とその財源）は表3の通り、事業収益（収入）が33億8,703万円、事業費用（支出）は31億9,218万円で、差し引き1億9,485万円の純利益となり、前年度からの繰越利益剰余金14億8,687万円を合わせた未処分利益剰余金は16億12億5,453万円となりました。このうち3億4,900万円を利益積立金に積み立て、翌年度繰越利益剰余金は12億5,453万円となりました。

資本的収支（水道施設の建設改良などのための経費とその財源）は、資本的収入が1億9,377万円、資本的支出が2億9,437万円でした。また、4条非課税売上に対応する課税仕入分13万円を控除後の不足額は19億9,197万円となり、過年度分損益勘定留保資金（現金支出を伴わない減価償却費などにより内部に留保された資金）で補てんしました。財政状態は表4の通りです。

配水管布設工事などを4億2,462万円で実施

安全な水の安定供給を図るため、改良・5期拡張工事に取り組み、水質管理の充実にも努めました。改良工事では、配水管改良工事、配水管敷設替工事などを3億5,425万円で実施し、5期拡張工事では、配水管布設工事、緊急遮断弁設置工事などを7,037万円で実施しました。今後とも、水道ビジョンの基本理念・目標に基づき、老朽化した施設・設備の更新、耐震化工事などに取り組みとともに、一層の経営の効率化を図ります。

表4 25年度水道事業貸借対照表 (26年3月31日現在)

借方	貸方
土地、建物、構築物、ダム使用权、投資など固定資産 192億6,389万円	固定負債 1億7,024万円
現金預金、未収金など流動資産 41億3,668万円	未払金、預り金など流動負債 3億8,691万円
	自己資本金 6億2,909万円
	借入資本金 20億7,288万円
	受贈財産評価額、国庫補助金など資本剰余金 183億8,792万円
	建設改良積立金 1億5,000万円
	当年度未処分利益剰余金 16億 353万円
合計 234億 57万円	合計 234億 57万円

経費の削減に努め、市民の皆さんから信頼される水道をめざします。詳しくは上下水道局経営企画課 ☎(740) 1261へ。

表6 25年度下水道事業貸借対照表 (26年3月31日現在)

借方	貸方
土地、建物、構築物、機械および装置、施設利用権など固定資産 490億2,573万円	固定負債 36億7,874万円
現金預金、未収金など流動資産 19億 165万円	未払金、預り金など流動負債 3億3,528万円
	自己資本金 38億 303万円
	借入資本金 127億6,478万円
	受贈財産評価額、国庫補助金など資本剰余金 288億 302万円
	当年度未処分利益剰余金 15億4,253万円
合計 509億2,738万円	合計 509億2,738万円

基づき、持続的、安定的な事業運営に努めていきます。詳しくは上下水道局経営企画課 ☎(740) 1261へ。

下水道

25年度は4億8,999万円の黒字

収益的収支（事業活動のための経費とその財源）は表5の通り、事業収益（収入）が26億5,256万円、事業費用（支出）は21億6,257万円で、差し引き4億8,999万円の純利益となり、前年度からの繰越利益剰余金10億5,254万円を合わせた未処分利益剰余金は15億4,253万円となりました。このうち11億1,800万円を減価積立金に積み立て、翌年度繰越利益剰余金は4億2,453万円となりました。

資本的収支（企業債償還金および下水道施設の建設改良などのための経費とその財源）は、資本的収入が8億1,472万円、資本的支出が18億6,341万円でした。また、不課税収入（国庫補助金、他会計負担金および補助金など）の特定分など89万円を控除後の不足額は10億5,764万円となり、当年度分損益勘定留保資金（現金支出を伴わない減価償却費などにより内部に留保された資金）などで補てんしました。財政状態は表6の通りです。

管渠や雨水ポンプ場の整備などを3億8,124万円で実施

都市の健全な発達と公衆衛生の向上を図るため、建設改良事業に取り組み、公共用水域の水質保全にも努めました。同改良事業では、管渠（家庭などから出たトイレや生活雑排水など汚水・雨水を流す下水道管）の整備や雨水ポンプ場の設備更新などを3億8,124万円で実施しました。今後とも、下水道ビジョンの基本理念・目標に

表5 25年度下水道事業損益計算書 (25年4月1日～26年3月31日)

支 出	収 入
減価償却費 8億2,082万円	下水道料 17億9,508万円
負担金 4億7,176万円	他会計負担金および補助金 8億4,415万円
支払利息 3億5,834万円	その他の収入 1,333万円
委託料 1億7,808万円	小計 26億5,256万円
人件費 1億6,079万円	当年度純損失 —
修繕費 1億2,433万円	合計 26億5,256万円
その他の支出 4,845万円	
小計 21億6,257万円	
当年度純利益 4億8,999万円	
合計 26億5,256万円	

※修繕費には材料費を含みます milife | 2014.12